

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 地球環境と地域の環境を保全する
<b>施策</b>	01 環境保全を実践する		

<b>基本方針</b>	環境保全対策を計画的に進めるとともに、市民一人一人の環境に対する意識の向上と自発的な活動を促進し、身近な生活環境の保全と低炭素社会の実現をめざします。
-------------	---

## 環境部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育を推進するため、省エネルギーなどをテーマにした環境教育出前講座を開催した。</li> <li>・公害防止協定・法規制対象の工場や事業場に対し立ち入り調査を行い、留意すべき点等について必要な指導を行った。</li> <li>・大気汚染物質、自動車騒音、公共水域、振動・騒音等について常時監視・調査を実施した。</li> <li>・合併処理浄化槽設置に伴う生活排水の水質向上について、現況を確認するため、小河川等30地点において、生活排水影響調査を実施した。</li> <li>・環境マネジメントシステムや率先実行計画については、事業等の見直しにより、温室効果ガスの削減に努めた。</li> </ul>	

## 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>道路照明灯1, 019灯基は平成26年度に、市管理防犯灯7, 790灯については平成27年度にLED照明器具に変更し、リース契約による維持管理を実施中であり、今後は町内会管理防犯灯のLED照明への変更を誘導していく。</p> <p>また、公園内の照明灯約600灯については、LED化に向けての現況調査を実施し、平成29年度にリース契約によるLED化を進めることとした。</p> <p>これにより、低炭素社会実現に貢献できるようにしていく。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
温室効果ガス排出量の削減率(1990年比)	%	+24.0 (平成17年度)	35.1 (平成24年度)	-9
かんきょう出前講座の参加者数	人	848 (平成17～21年度の平均)	1,218 (平成23～27年度の平均)	1,000 (平成23～27年度の平均)
大気や水質・騒音等の環境対策に関して満足している市民の割合	%	29.8 (平成20年度)	37.1 (平成26年度)	37

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 地球環境と地域の環境を保全する
<b>施策</b>	02 地域の自然環境を守る		

<b>基本方針</b>	豊かな自然環境を保全し、多様な生命をはぐむ環境づくりに取り組むなど、人と自然とが共生する社会の実現をめざします。
-------------	--

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
各地域における農地の保全を図るとともに有害鳥獣捕獲業務を実施し、農作物被害の軽減や動植物の生態系の保全を図った。特定外来生物の捕獲頭数は増加傾向にあり、今後も継続して行う必要がある。	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
市が主催または共催する自然観察会の参加者数	人	185(平成17～21年度の平均)	111(平成23～27年度の平均)	250(平成23～27年度の平均)
自然環境の保全に関して満足している市民の割合	%	41.9 (平成20年度)	45.9 (平成26年度)	49

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 資源の循環と環境美化を推進する
<b>施策</b>	01 ごみを減らし、リサイクルを進める		

<b>基本方針</b>	ごみの発生抑制、再使用、再資源化、適正処理を積極的に進め、循環型社会の実現をめざします。
-------------	--

## 環境部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向け出前講座、また広報紙やHP、回覧文などの媒体を積極的に活用し、ごみ分別、減量、3R推進の周知を図った。</li> <li>・レジ袋削減のため、H27年11月に市と市内の11事業者、市消費者協会との三者でレジ袋の無料配布中止の協定を締結し、H28年4月から協定事業者においては、レジ袋の無料配布を中止した。</li> <li>・H28年10月からのごみ処理手数料の改定に向けて、事務を進めた。</li> <li>・資源化推進のため、地域の資源物集団回収に対し奨励金を支給した。</li> <li>・開発行為の協議において、ごみステーションが適正に配置されるよう誘導した。</li> <li>・粗大ごみ戸別収集について、H29年10月実施に向けて具体的な検討を行った。</li> <li>・広域処理施設について、2市2町による協議を各レベルで行い、H34年の本格稼働に向け準備を進めた。</li> <li>・焼却施設においては、計画的な改修工事と運営管理業務のモニタリングにより、適切な維持管理ができた。</li> <li>・業務委託により、最終処分場の浸出水の適正処理と良好な維持管理ができた。</li> <li>・剪定枝の資源化について、検討を行い、事務を進めた結果、H28年4月から資源化を開始することとなった。</li> <li>・リサイクルセンターについては施設が老朽化しているが、処理施設の躯体部分を中長期計画で修繕に取り組み、ごみの処理が滞らないように安定した運転ができた。</li> <li>・ごみ最終処分場の延命化を目標としている為、適正な管理ができた。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
市民一人あたりのごみ排出量	g/日	940 (平成21年度)	925 (平成27年度)	914
資源化率	%	12.79 (平成21年度)	16.52 (平成27年度)	25
ごみの減量・不用品のリサイクルの推進に関して満足している市民の割合	%	43.7 (平成20年度)	52.9 (平成26年度)	51

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	03 うるおいのある環境の中で暮らせる まちをめざして	<b>政策</b>	02 資源の循環と環境美化を推進する
<b>施策</b>	02 清潔で美しい環境をつくる		

<b>基本 方針</b>	市民の環境美化に対する意識の向上や自主的な活動を促進し、清潔で快適な生活環境の創出をめざします。また、し尿の適正な処理を推進し、環境への負荷軽減を図ります。
------------------	--

### 環境部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄パトロールを実施し、237件の事案について対応した。</li> <li>・し尿収集体制について、し尿登録件数を把握し、班体制の見直しを行った。</li> <li>・し尿処理施設の設備について、し尿・浄化槽汚泥の投入槽・貯留槽の修繕等について次年度の予算措置を行った。</li> <li>・下水道長期整備区域の見直しに伴い拡大した「合併処理浄化槽で処理する区域」における生活環境の早期改善と公共水域の水質保全を図るため、新たな合併処理浄化槽補助制度の運用により、合併処理浄化槽設置補助288件及び維持管理費補助258件を行った。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
アダプトプログラム登録団体数	団体	38 (平成21年度)	38 (平成27年度)	50
生活排水処理率	%	92.0 (平成21年度)	94.6 (平成27年度)	95
ポイ捨てやペットのふん害防止に関して満足している市民の割合	%	12.7 (平成20年度)	22.9 (平成26年度)	20